

城山のエコツーリズムを目指して～鳥類・秋冬編～

1年1組 河野 凜太 1年1組 弓達 太一 1年2組 二宮 政人
1年1組 藤石 拓秀 1年2組 宮本 翼 1年3組 梅崎斗志輝
指導者 若山 勇太

1 課題設定の理由

宇和島市のシンボルである城山は多くの観光客と地域住民によって親しまれる自然豊かな環境である。宇和島市(2016)が作成している「城山まっぷ」には建造物に関する情報のみで、その自然や生物に関する情報はほとんど見当たらない。筆者らが城山を歩くと、植物についてはラベルが付けられている種も多かったが、動物については何も情報がなかった。

このような背景から、筆者らは将来的なエコツーリズムを目指し、まずは鳥類を調べて観察マップを作成する目的で本研究を始めた。エコツーリズムとは「自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のありかた」とされている(環境省,2004)。

2 研究の方法

(1) 城山の区画設定

城山を4つの区画(A～D)に分けた(図1)。

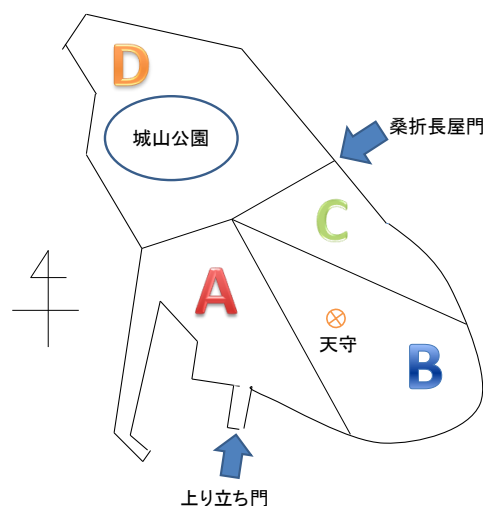
城山の登山口は桑折長屋門と上り立ち門の2か所があり、散策ルートも多様なため、区画ごとの情報提供が望ましいと判断した。

(2) 鳥類調査

月に1回以上城山を散策し、双眼鏡を使用した目視や鳴き声で種数と個体数を記録した。調査期間は2016年10月～2017年1月である。

(3) 観察マップの作成

図1の区画ごとに、観察記録が多かった順にリストを写真(一部の種)とともに掲載し、観察マップを作成した。



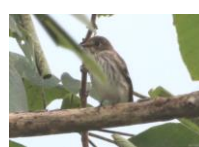
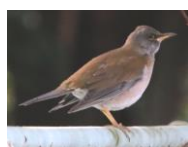
A: 上り立ち門～城山管理事務所
B: 城山管理事務所～天守
C: 天守下分岐～桑折長屋門
D: 桑折長屋門～防災道路～城山公園

図1: 城山の区画設定

3 結果と考察

(1) 調査結果

筆者らが調査した2016年10月～2017年1月で記録した鳥類は14科22種(外来種1種を含む)であった(表1)。一年中見られる留鳥の他に、冬鳥のアオジ(写真1(a))、シロハラ(写真1(b))、ジョウビタキ(写真1(c))、また、旅鳥のエゾビタキ(写真1(d))、外来種のドバト(写真1(e))が観察された。種数は区画AとDで比較的多かった。



(a) アオジ (b) シロハラ (c) ジョウビタキ (d) エゾビタキ (e) ドバト

写真1: 観察された冬鳥(a～c)、旅鳥(d)、外来種(e)

(2) 過去の文献との比較

愛媛県立宇和島南高等学校(1989)によると、表1のリストの他に留鳥でモズ、比較的

稀だが冬鳥でコイカル、キレンジャク、ヒレンジャクが記録されている。モズは百舌と漢字で表されるほど他の鳥の鳴き声をまねることがあり(松田ら,2012)、筆者らが聞き落としている可能性も高い。

(3) 観察マップの作成

2016年10月～11月を「秋」、2016年12月～2017年1月を「冬」と区分し、観察マップを作成した(図2)。観察記録が多かった種から順にリストを並べたことで、普遍種と希少種の区別ができるようになっている。今後も調査を続けて、「春・夏編」を作成する。

4 まとめと今後の課題

エコツーリズムにとって「日々の観察記録を残す」ことは非常に重要であると筆者らは考えている。今後も継続して調査を行い、鳥類観察マップ「春・夏編」を作成し、さらには他の生物群にも研究対象を広げていきたい。

表1： 城山の鳥類(2016年10月～2017年1月)

科	和名	学名	季節区分
ウグイス	ウグイス	Anatidae <i>Aix galericulata</i>	留鳥
エナガ	エナガ	Anatidae <i>Anas platyrhynchos</i>	留鳥
カラス	ハシブトガラス	Aegithalidae <i>Aegithalos caedans</i>	留鳥
	ハシボソガラス	Corvidae <i>Corvus corone</i>	留鳥
キツツキ	アオゲラ	Campophagidae <i>Picus sibilatrix nippon</i>	留鳥
	コゲラ	Campophagidae <i>Picus dorsalis nippon</i>	留鳥
シジュウカラ	シジュウカラ	Emberizidae <i>Emberiza caesia</i>	留鳥
	ヤマガラ	Emberizidae <i>Emberiza godalophala</i>	留鳥
セキレイ	キセキレイ	Sturidae <i>Sturnus chinensis</i>	留鳥
タカ	トビ	Accipitridae <i>Milvus migrans</i>	留鳥
ハタオリドリ	スズメ	Muscicapidae <i>Turdus naumanni</i>	留鳥
ハト	キジバト	Muscicapidae <i>Turdus pallidus</i>	留鳥
	イソヒヨドリ	Accipitridae <i>Accipiter nisus</i>	留鳥
ヒタキ	エゾヒタキ	Muscicapa <i>griseisticta</i>	旅鳥
	ジョウヒタキ	Laridae <i>Larus schistogaster</i>	冬鳥
	シロハラ	Laridae <i>Larus canus</i>	冬鳥
ヒヨドリ	ヒヨドリ	Scolopacidae <i>Actitis hypoleucos</i>	留鳥
ホオジロ	アオジ	Gruiformes <i>Fulica atra</i>	冬鳥
	ホオジロ	Columbidae <i>Streptopelia orientalis</i>	留鳥
ムクドリ	ムクドリ	Alcedinidae <i>Alcedo atthis</i>	留鳥
	メジロ	Strigidae <i>Strix uralensis</i>	留鳥
外来種	ドバト	Columba livia var. domestica	留鳥



図2： 城山の鳥類観察マップ(秋・冬編)

参考文献

- ・宇和島市(2016)『城山まっぶ』宇和島市
- ・愛媛県立宇和島南高等学校科学部(1989)『宇和島市の自然ウォッチング』愛媛県立宇和島南高等学校 p.28-29.
- ・環境省(2004)『エコツーリズム—普及のための5つの推進方策』環境省自然環境局総務課自然ふれあい推進室 p.1-3.
- ・松田久司・小川次郎・梅木憲一・橋越清一(2012)『南予の鳥の図鑑』かわうそ復活プロジェクト p.1-207.